

環境だより



環境課 ☎66♦1122

市では、大気環境の改善を図るため、「自動車NOx・PM法」に基づく車種規制を受ける事業用の車を対象に、ディーゼル車を廃車して最新規制適合車に買い替えをするとき、車両購入費の一部を補助します。

この制度を「最新規制適合車等早期代替促進費補助制度」と言います。

**最新規制適合車等
早期代替促進費補助制度**
補助対象者

市内に工場または事業場を有し、引き続き6カ月以上同一の事業を営む中小企業経営の方（個人経営および農業な

大気を汚さないために 事業用ディーゼル車補助制度



どの個人を含む）などです。
補助の主な要件

自動車NOx・PM法に規定する最終使用期日より2年以上早期に廃車（15条抹消登録）し、最新規制適合車の新車に買い替えること。

特殊自動車と乗用車は対象となりません。

補助金の額

車両本体価格10%（千円未満切り捨て）で100万円を上限。

1事業者1台限り。

申請

受付期間

5月10日（月）～31日（月）

申し込み

申込書（環境課にあります）に必要書類を添えて環境課へ提出してください。
受付期間中の申し込み分、予算の範囲を超えた場合は公開抽選となります。

消防最前線

Journal
of
Fire
Department
119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

火事場へ出勤する前に頭から水をかぶって、さあ、準備よし！というのは昔の話。今の消防士は、頭からつま先まで覆う鉄のよろいならぬ防火衣を身にまとい、火災現場へ出勤します。

防火衣は、二重構造の上衣とズボンからなり、さらにヘルメット、手袋、長靴と合わせて完全防護のかたちになります。防火衣は、炎にさらされる火災現場でも長時間活動できるように、約200°Cの炎に65秒以上耐えることができます。性能をもっています。

そしてヘルメットは、瓦などの落下物から頭部を守る強度をもち、手袋は、割れたガラスやはがれたトタン板をつ

消防士のよらい

かんでも破れることはない特殊な材質で作られています。長靴も釘などを踏み抜かないように鉄板が入っています。こうした装備は、消防士には欠かせない基本装備です。現場では、さらに何本ものホースや空気呼吸器、何十メートルのロープを携行するため、消防士は常に約20kgの重りを身につけていることになりました。

しかし、ひとたび現場に入れば、何十本ものホースを延ばしたり、山道を駆け上ったり、何時間も放水をし続けたりします。それでも誰も弱音を吐きません。防火衣という名の鉄壁のよろいを身にまといながら、消防士としての鉄の魂を備えているからです。何度も火災現場に行くたびに、防火衣には洗っても落ちない汚れが付きまします。しかし、その汚れが消防士のよらいを一層輝かせるのです。

